

未来をつくるミュージアム

東京都美術館学芸員 稲庭 彩和子

国際博物館会議に参加して

国際博物館会議（ICOM）0人以上が各国委員会（International Council of Museums）の25回目の博物館史上に残る出来事となる大会が9月1日から7日まで、京都で行われました。

1946年に創設されたICOMは世界で唯一かつ最大のミュージアム（博物館・美術館）の専門の国際組織で、3年に1度行われる大会の日本での開催は初です。世界120カ国から過去最大となる約4600人のミュージアム関係者が集結し、1週間の間、多岐にわたるテーマでフォーラムや会議が開催されました。日本からは約1900人が参加し、このうち10

持続可能な社会へ

筆者が所属する（公財）東京都歴史文化財団からは、江戸東京博物館と東京都美術館が国際委員会（ICAM）の会議での発表やセッションのサポートを行いました。

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと



ダイバーシティ・プログラム「美術館でポーズ！」東京都美術館にて photo by Ayano SO

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

ミュージアムの運営において社会課題やSDGsへの視点を持つ潮流は、この20年で欧米では主流となり、日本ではこの京都大会で初めて知り得た関係者も多かったのではないかと思います。今後、日本のミュージアム関係者がグローバルなネットワークを持ちながら議論に加わっていくためには、まずは国内での課題について市民と共に考える場を持つ必要があるのではないのでしょうか。

学は共同して「ミュージアム・スタート あいうえの」という、上野公園内にある九つの文化施設が連携し、

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

人々が孤立しない、つながりのある社会を築くために、ダイバーシティや高齢社会への対応は地方自治体の文化政策の中でも喫緊の課題です。美術館・博物館はそうした社会課題に対し、文化財を軸に具体的な実践を積み重ねることができるとともに、この取り組みを通じて都民生活を豊かにし、ひいては都市の成長に寄与する公的な使命を持つ機関として、今後の可能性に満ちた場と言えるのです。

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

例えば、児童養護施設や（アート）コミュニケーション係長）

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

例えば、児童養護施設や（アート）コミュニケーション係長）

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

例えば、児童養護施設や（アート）コミュニケーション係長）



日本で初めて開催された国際博物館会議京都大会

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

この7日間で印象深かったのは、各フォーラムやパネルディスカッションで「ミュージアムは過去を保存し、公開するだけでなく、より多様な人々が文化を通して社会とのつながりができるように、社会課題に目を向け、市民の対話の場となり、人々の未来をつくる拠点となる」というミュージアムの社会的役割について議論され、各国の実践が語られたことでした。ミュージアムは文化財を「保存すること」を第一の目的としているがゆえに、モノ（展示物）を中心とした思考に支配されがちです。しかし、ミュージアムは誰のためにあるのかと常に問い、人々が幸福（ウェルビーイング）社会的にも満たされた心身共に健康な状態）であるためにミュージアムがいかに貢献することができるのかと

例えば、児童養護施設や（アート）コミュニケーション係長）